DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Team Release

予選レポート
2026/11/21　Rd-11 鈴鹿サーキット

天候：晴れ　　気温：12℃　　出走台数：24 台

2026 シーズンチームチャンピオンシップ、そしてドライバーチャンピオンの両タイトルが決まる最終大会 JAF グランプリ鈴鹿。開幕 2 連勝から 4 勝を挙げ、他を圧倒してチャンピオンシップをリードしてきた太田選手を筆頭に、昨年チャンピオンの岩佐選手、フラガ選手の 3 選手がチャンピオン獲得の可能性を残しタイトル決戦鈴鹿を迎える。
A 組　牧野選手はまず中古タイヤでコースイン。チェックランを行うと新品タイヤに履き替えピットアウト。2 周のウォームアップを経てアタックラップへ。
第 3 セクターでベストタイムを記録し、3 位で第 2 予選へ。
B 組 太田選手も開始すぐにユーズドタイヤを履いてコースへ。
牧野選手と同じくニュータイヤに交換するとウォームアップを 2 周しアタック。
太田選手は、第 1 セクターから第 3 セクターにかけて全体ベストタイムを記録し、首位で第 2 予選へ。
続く第 2 予選、太田選手、牧野選手の順でコースへ。
太田選手は前半セクターで好タイムを記録するものの、第 4 セクターでタイムを伸ばせず 3 位。
牧野選手は第 1 セクターでタイムロス、第 3 セクターで好タイムを記録し挽回するが 7 位で予選を終えた。

5：牧野任祐選手　予選 7 位（第 1 予選 A 組 3 位　第 2 予選 7 位）
金曜日のフリー走行から抱えている問題を改善しきれていない状態でした。
第 1 予選、第 2 予選と順当には進み、第 3 セクターではベストタイムに遜色ない速さがありました。シケインでのミスはありましたが、いずれにせよトップに届く感じではなかったです。
午後の決勝は 2 列目グリッドからのスタートですし、表彰台フィニッシュでチームタイトルに貢献したいです。

6：太田格之進選手　予選 3 位（第 1 予選 B 組 1 位　第 2 予選 3 位）
風が強くて難しいコンディションでした。絶対ミスはできないシチュエーションでしたし、その中でも 3 位ポジションで終えられたことは良かったと思っています。
午後の決勝はスタートをしっかり決めて、優勝でシリーズチャンピオンを決めることが出来たら最高ですね。